

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 特定非営利活動法人 多言語教育研究所

1 事業の趣旨・目的

- (1)趣旨： 保護者も参加可能で、子どもの母国語・母国の文化を知ることを通して多文化な視点の支援も行う日本語教室の設置と運営。
- (2)目的： 外国人の子どもの日本語コミュニケーション能力と自尊心を高め、学校生活における自立的な適応力を向上させること。また、将来の進路についての選択肢に関わる日本語能力を得ること。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月23日	当法人内	ミックメーヒル・カイラン 中島 有季子 谷口 すみ子 村元 エリカ 園田 智子 桑原 宜徳 石橋 峯生	これまでの活動内容についての報告と改善点	① 授業を行っている学校ごとの活動日程と回数について： ・学校によって人数の差がある。外国籍生徒がいるにもかかわらず参加人数が少ない学校に関しては、教育委員会の協力を得るなど、再度アピールをした方がよいのでは。また学校に在籍する外国籍の生徒の人数も知りたいという意見もあり。 ② 参加生徒数、学年と国籍の報告： ・参加対象者を1年～3年にしている理由について(学校の授業スケジュールとの兼ね合いで、6時限目の授業時間に合わせておこなっているため、高学年は学校の通常授業があるため参加ができない現状であると説明) ③ 授業内容について： ・各月ごとのテーマとそれに沿った授業をどのようにおこなっているかを実際のレッスンプランの例をみてもらい説明。国際理解やさまざまな文化を取り入れた内容の中で生徒たちが日本語を使い学習していることは日本語能力を伸ばすだけではなく、子どもの人間形成やその子どものアイデンティティを高める教育であり非常に興味深いという意見を頂く。もっと多くの生徒に参加してもらいたいという意見も。

				④ 授業風景の写真を紹介 ⑤ 今後の活動について ・2学期が始まってから参加者(生徒)、保護者に向けたアンケートを行う予定。
12月 17日	当法人 内	ミックメーヒル・カイルン 中島 有季子 村元 エリカ 園田 智子 桑原 宜徳 石橋 峯生	これまでの活動内容についての報告と課題・来年度にむけてのカリキュラムについて	① 8月以降の講座内容の報告: ・生徒の母国文化(言語、食べ物、動物、地理など)に関連させ日本語を指導する方法は大変興味深く、外国籍児童が自分の文化を学習することは大切な内容だと評価を頂く。 ② 講座を通しての生徒数、回数、時間の報告: ・前回運営委員会の報告よりも参加数が増えており、学校側の協力と講座が定着してきたことを報告。学校内で講座を行ったことの価値の高さを認識した。 ③ アンケート結果の報告: ・生徒・保護者・教員にむけてのアンケート結果から見える講座に対しての評価と今後の課題を話し合った。多くの生徒が講座に楽しく参加をし、学校生活、日本語学習により積極的になった様子がうかがえる。教員の回答にあるように、保護者への教育に対する理解が今後の課題である。 ④ 来年度の活動について(予定): ・カリキュラムについては、日本も含め、生徒の母国(ブラジル・ペルー・ベトナム)から昔話を紙芝居にし、日本語で紹介。昔話を通して、語彙・文章理解・音読・読解力を高めると同時に世界に共通する概念や道徳を教える。国際理解にも通じ、大変興味深いと評価を頂いた。 ・募集について、より多くの外国籍児童が参加できるよう今回のノウハウを生かし保護者への連絡など、早めの対応をとるとよい。



3 日本語教室の開催について

- ① 講座名:親子の夢実現教室「The Dream Club」
- ② 開催場所:伊勢崎市内の小学校(広瀬小学校、坂東小学校、豊受小学校、南小学校)
- ③ 学習目標:子どもが自分たちの深く知っている話題について日本語を自由に話し学習できる環境及び日本人のクラスメートの中で少数派である子どもたちが自分の文化などを知る機会を提供するとともに、親達の文化や言語に対する自尊心と誇りを育てる。結果として、日本語コミュニケーション能力を高め、小学校の授業への取り組みの増進を図り、学校生活における自立的な適応力を向上させる。
- ④ 使用した教材・リソース:多文化共生をベースとした独自のカリキュラムと教材を採用。また多言語に翻訳した絵本やストーリーを採用。
- ⑤ 受講者の募集方法:
 - イ) 伊勢崎市教育委員会からの協力・・・公立小学校の放課後の時間に文化庁からの委託事業として日本語教室の運営をさせて頂きたい旨を理解頂き、学校教育課から対象の4校の校長先生に連絡して頂いた。
 - ロ) 各学校との打ち合わせ・・・校長、教頭先生に活動の趣旨等の理解を頂き、日程、時間、場所等の詳細を決め募集案内の手紙を作成。校内で先生方に告知して頂いた。
 - ハ) 募集案内文の配布・・・開催校の1年生～3年生の外国籍の生徒に担任の先生を通して配布。申込書は担任の先生、学校を通して当法人が回収。
※ 募集チラシ 別紙添付。二)22年度の参加者の中から対象者に直接連絡。
- ⑥ 受講者の総数 69 人
(出身・国籍別内訳)
ブラジル籍 25 人、ペルー籍 27 人、ブラジル／ペルー籍 3 人
ベトナム籍 8 人、タイ籍 1 人 アメリカ籍 2 人、フィリピン籍 1 人
パキスタン籍 2 人
- ⑦ 開催時間数(回数) 夏期 33 回 67.5 時間 秋期 39 回 72 時間
合計 139.5 時間 (全 72 回)
- ⑧ 日本語教室の具体的内容

《国籍の表記》

B: ブラジル (ポルトガル語)	F: フィリピン/アメリカ (英語)
P: ペルー (スペイン語)	PK: パキスタン (ウルドゥー語)
V: ベトナム (ベトナム語)	T: タイ (タイ語)
B&P: ブラジル人とペルー人の両親をもつ	

回	開催日時	時間	参加人数	国籍	教授者 補助者	内容
1	4月20日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	11人	B(3人) P(7人) V(1人)	教授者 4人	人の肌の色の違いについてとについて考える。色についての学習、漢字の学習。 独自の教材を使用。 本の読み聞かせ: It's okay to be different(日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語翻訳)
2	4月27日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	14人	B(4人) P(9人) V(1人)	教授者 4人	平和についての学習: 世界の子どもたちの違いや障害をもつ子どもたちについて知ろう(独自の教材を使用)。 国の名前と場所を地図を使い学習し日本語で書いてみるなど。 本の読み聞かせ: peace book(日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語翻訳)
3	5月11日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	15人	B(4人) P(10人) V(1人)	教授者 4人	体の部分の名前や友達との違いについて楽しく学ぼうⅠ: (独自の教材) 多言語での体の部分の名前、漢字の学習、好きな体の部分を測ってみる。形を写しとって友達と比べてみる。 詩の朗読: I am different(日本語訳)
4	5月17日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	2人	V(2人)	教授者 4人	世界にはどんな人々が住んでいるのだろうか?: (独自の教材) 白人系・黒人系・アジア系・ネイティブアメリカンなど、それぞれもともとはどこの国に住んでいたのだろうか? どうして今はいろんな肌の色がまざっているのだろうか? 自分の身近なところを考えよう? 地図の見方、大陸の名前。 読み聞かせ: “私たち友達”(日本語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語訳)
5	5月18日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(2人) P(5人)	教授者 3人	体の部分や友達との違いについて学ぼうⅡ: 体の部分の名前、漢字の復習、ゲーム。本の読み聞かせ: “ごぼうさんの色は?”
6	5月18日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	5人	B(2人) P(2人) V(1人)	教授者 2人	体の部分の名前や友達との違いについて楽しく学ぼうⅠ: (独自の教材) 多言語での体の部分の名前、漢字の学習、好きな体の部分を測ってみる。形を写しとって友達と比べてみる 詩の朗読: I am different(日本語訳)
7	5月24日 豊受小 15:00～	1.5 時間	2人	V(2人)	教授者 4人	体の部分の名前や友達との違いについて楽しく学ぼうⅠ: (独自の教材) 多言語での体の部分の名前、漢字の学習、好きな体の部分を測ってみる。形を写しと

	16 : 30					って友達と比べてみる。 詩の朗読 : I am different (日本語訳)
8	5 月 25 日 坂東小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	5 人	B (2 人) P (2 人) V (1 人)	教授者 2 人	体の部分や友達との違いについて学ぼうⅡ : 体の部分 の名前、漢字の復習、ゲーム 本の読み聞かせ : “ご ぼうさんの色は?”
9	5 月 25 日 広瀬小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	13 人	B (4 人) P (8 人) V (1 人)	教授者 3 人	世界にはどんな人々が住んでいるのだろうか? : (独自 の教材) 白人系・黒人系・アジア系・ネイティブアメ リカンなど、それぞれもともとはどこの国に住んでい たのだろうか? どうして今はいろいろな肌の色がまざっ ているのだろうか? 自分の身近なところを考えよう? 地図の見方、大陸の名前。 読み聞かせ : “私たち友達” (日本語、ポルトガル語、 スペイン語、ベトナム語訳)
10	5 月 31 日 豊受小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	2 人	V (2 人)	教授者 4 人	体の部分や友達との違いについて学ぼうⅡ : 体の部分 の名前、漢字の復習、ゲーム 本の読み聞かせ : “ご ぼうさんの色は?”
11	6 月 1 日 広瀬小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	14 人	B (2 人) P (9 人) V (4 人)	教授者 3 人	名前についての歌を通じて日本語と多言語を楽しもう : “everyone has a beautiful name” 歌詞の読み書き から日本語を学ぶ。 多言語で歌ってみよう。
12	6 月 7 日 豊受小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	2 人	V (2 人)	教授者 2 人	名前について歌を通じて日本語と多言語を楽しもう : “everyone has a beautiful name” 歌詞の読み 書きから日本語を学ぶ。
13	6 月 8 日 坂東小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	5 人	B (2 人) P (2 人) V (1 人)	教授者 2 人	名前について歌を通じて日本語と多言語を楽しもう : “everyone has a beautiful name” 歌詞の読み書き から日本語を学ぶ多言語で歌ってみよう。
14	6 月 8 日 広瀬小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	12 人	B (2 人) P (7 人) V (3 人)	教授者 3 人	数字を楽しもう : (独自の教材) 世界にはいろいろな 数字の書き方があることを知ろう。違う数字を書いて みる。例ローマ数字、ペルシャの数字、タイの数字、 計算の練習。
15	6 月 14 日 豊受小 15 : 00 ~ 16 : 30	1.5 時間	2 人	V (2 人)	教授者 2 人	人の肌の色の違いについてと違いについて考える。色 についての学習、漢字の学習。 独自の教材を使用。 本の読み聞かせ : It' s okay to be different (日本

						語・ベトナム語翻訳)
16	6月15日 15:00～ 16:30 広瀬小	1.5 時間	11人	B(2人) P(7人) V(2人)	教授者 3人	世界の名前について：(独自の教材)ペルーやブラジルでポピュラーな名前とその意味、カタカナや文の練習、名前はどのようにつけるのだろうか？
17	6月16日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(4人) P(4人)	教授者 3人	人の肌の色の違いについてと違いについて考える。色についての学習、漢字の学習。 独自の教材を使用。 本の読み聞かせ：It's okay to be different(日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語翻訳)
18	6月21日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	2人	V(2人)	教授者 2人	いろいろな国の言葉と書く道具についての学習：(独自の教材)昔と今の書くための道具、筆、竹、羽根などの道具の名前と実際に道具を使って日本語の言葉や文を書いてみよう。
19	6月22日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(2人) P(5人) V(3人)	教授者 3人	いろいろな国の言葉と書く道具についての学習：(独自の教材)昔と今の書くための道具、筆、竹、羽根などの道具の名前と実際に道具を使って日本語の言葉や文を書いてみよう。
20	6月28日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	2人	V(3人)	教授者 2人	ベトナム語と日本語の比較：(独自の教材)発音や書き方の違い、ベトナム語を日本語、漢字に直してみよう。
21	6月29日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(3人) P(3人) V(1人)	教授者 1人	道具についての学習：(独自の教材)昔と今の書くための道具、筆、竹、羽根などの道具の名前と実際に道具を使って文を書いてみよう。
22	6月29日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	12人	B(3人) P(6人) V(3人)	教授者 3人	ベトナム語と日本語の比較：(独自の教材)発音や書き方の違い、ベトナム語を日本語、漢字に直してみよう。
23	7月5日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	2人	V(2人)	教授者 2人	世界で着られる服についての学習Ⅰ：(独自の教材)世界ではどのような素材を使って服が作られているだろう？地域の特色(天候や植物)と服の素材の関係、素材の名前を日本語で学習し、服を実際に触れて何からできているか当てるゲームをする。
24	7月6日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(3人) P(3人) V(1人)	教授者 2人	世界で着られる服についての学習Ⅰ：(独自の教材)世界ではどのような素材を使って服が作られているだろう？地域の特色(天候や植物)と服の素材の関係、素材の名前を日本語で学習し、服を実際に触れて

						何からできているか当てるゲームをする。
25	7月6日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(3人) P(4人) V(3人)	教授者 3人	世界で着られる服についての学習Ⅰ：（独自の教材） 世界ではどのような素材を使って服がつけられているだろう？地域の特色（天候や植物）と服の素材の関係、素材の名前を日本語で学習し、服を実際に触れて何からできているか当てるゲームをする。
26	7月7日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(4人) P(4人)	教授者 3人	世界で着られる服についての学習Ⅰ：（独自の教材） 世界ではどのような素材を使って服がつけられているだろう？地域の特色（天候や植物）と服の素材の関係、素材の名前を日本語で学習し、服を実際に触れて何からできているか当てるゲームをする。
27	7月12日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	2人	V(2人)	教授者 2人	世界で着られている服についての学習Ⅱ：（独自の教材） いろいろな国で着られている民族衣装を知ろう、衣省の名前や地理、国の名前を日本語で学習し、紙人形でさまざまな民族衣装を作ってみる。
28	7月13日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(3人) P(3人) V(1人)	教授者 2人	世界で着られている服についての学習Ⅱ：（独自の教材） いろいろな国で着られている民族衣装を知ろう、衣省の名前や地理、国の名前を日本語で学習し、紙人形でさまざまな民族衣装を作ってみる。
29	7月13日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	9人	B(3人) P(5人) V(1人)	教授者 3人	世界で着られている服についての学習Ⅱ：（独自の教材） いろいろな国で着られている民族衣装を知ろう、衣省の名前や地理、国の名前を日本語で学習し、紙人形でさまざまな民族衣装を作ってみる。
30	8月1日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	14人	B(5人) P(6人) V(3人)	教授者 5人	世界の気候と人々の肌の色についての学習：（独自の教材） 高学年— 世界では肌の違う子どもたちがどのように一緒に学んでいるか（ビデオを見ての感想や意見交換）。 低学年— 多言語での色の言い方、日本語での書き方、漢字、色々な動物の名前や色。 本の読み聞かせ “It’s okay to be different” 日本語訳。 全体— 夏休みの宿題の補助。
31	8月2日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	14人	B(3人) P(8人) F(3人)	教授者 5人	平和についての学習：（独自の教材） 高学年— “平和”とは何か？意見を出し合い、雑誌や広告を使って平和をイメージする文字や絵を探してコラージュをつくろう。 低学年— 世界の子どもたちは写真や地図から見て見よう。国の名前と位置を学ぶ。

						友達のを習って歌おう、歌詞を日本語で書く、意味の学習。 全体― 夏休みの宿題の補助。
32	8月3日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	20 人	B (9人) P (8人) F (3人)	教授者 5人	世界のさまざまな文字や名前についての学習：（独自の教材） 高学年― 自分の名前の意味やどうして親が自分の名前をつけたかを調べて発表する。多言語でのポピュラーな名前や意味を調べてみる。 低学年― 文字を書く道具について学ぶ、道具の名前やその材料、実際に色々な道具で自分の名前を書いてみる。 全体― 夏休みの宿題の補助。
33	8月4日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	22人	B(11人) P(6人) F(3人) PK(2人)	教授者 5人	いろいろな国の洋服や素材について調べる。 低学年― 衣服の名前や柄につて。いろいろな国の衣装を紙人形に色塗りをし、自分の作品を発表する。 高学年― 衣服に使われる素材とその原料について日本語で学習し（毛-羊アルパカシルク-蚕 綿-コットンなど）、パキスタン人、ベトナム人のゲストを招きその国の衣装や文化歴史について聞く。 全体― 夏休みの宿題の補助。
34	8月22日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	20人	B(11人) P(6人) F(3人)	教授者 4人 補助者 1人	夏休みの宿題の補助・苦手科目（主に漢字・読解、算数）の問題練習。 バイリンガルのメキシコの先生によるメキシコの文化の紹介（地理・言葉・食べ物など）。
35	8月23日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	20人	B(11人) P(6人) F(3人)	教授者 4人 補助者 1人	夏休みの宿題の補助・苦手科目（主に漢字・読解、算数）の問題練習。 いろいろな国の誕生日の祝い方について学ぶ。 ピニャータ作り体験 誕生日の歌を各言語で紹介、歌う。
36	8月24日 多言語教育研究所 9:00～ 15:00	6 時間	19人	B(11人) P(6人) F(2人)	教授者 4人 補助者 1人	夏休みの宿題の補助・苦手科目（主に漢字・読解、算数）の問題練習。 夏休みのまとめ・感想文の作成。
37	8月30日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	4人	V(4人)	教授者 2人	母語と日本語でのカルタ遊び。チームを組みスゴクゲーム。

38	8月31日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(4人) P(2人) V(2人)	教授者 4人	翻訳や通訳とはどんな仕事だろう？バイリンガルであることの素晴らしさを知りながら日本語を学ぶ。言葉を母国語から日本語に直す簡単な翻訳ゲーム。
39	9月6日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	4人	V(4人)	教授者 2人	翻訳や通訳とはどんな仕事だろう？バイリンガルであることの素晴らしさを知りながら日本語を学ぶ。言葉を母国語から日本語に直す簡単な翻訳ゲーム。
40	9月7日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(4人) P(2人) V(2人)	教授者 4人	母語と日本語でのカルタ遊び。チームを組みスゴロクゲーム。
41	9月8日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(4人) P(2人) B&P(1人) T(1人)	教授者 3人	翻訳や通訳とはどんな仕事だろう？バイリンガルであることの素晴らしさを知りながら日本語を学ぶ。母国語を日本語に直す簡単な翻訳ゲーム。
42	9月14日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(3人) P(4人) V(3人)	教授者 4人	世界の食文化についてー メキシコ とうもろこしについての歴史や、とうもろこしを原料とする食材を利用して日本語を学習。トルティーヤを使った料理体験。
43	9月22日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(4人) P(2人) B&P(1人)	教授者 4人	世界の食文化についてー メキシコ とうもろこしについての歴史や、とうもろこしを原料とする食材を利用する日本語学習。トルティーヤを使った料理のレシピを日本語で書き料理体験。
44	9月27日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	4人	V(4人)	教授者 3人	世界の食文化について - ベトナム 春巻き（夏巻き）の歴史や材料を利用する日本語学習と料理体験。
45	9月28日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	9人	B(2人) P(5人) V(2人)	教授者 3人	世界の食文化について - ブラジル 誕生日の祝い方と食べ物について知り食べ物の名前や作り方を日本語で学び、料理体験。
46	9月28日 坂東小 15:00～ 16:3	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	世界の食文化について - ベトナム 春巻き（夏巻き）の歴史や材料を利用する日本語学習と料理体験。
47	10月4日	1.5	4人	V(4人)	教授者	世界の食文化についてー メキシコ

	豊受小 15:00～ 16:30	時間			2人	とうもろこしについての歴史や、とうもろこしを原料とする食材を利用した日本語学習。トルティーヤを使った料理のレシピを日本語で書き料理体験。
48	10月5日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	9人	B(2人) P(5人) V(2人)	教授者 2人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ベトナムの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
49	10月5日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	世界の食文化についてー メキシコ とうもろこしについての歴史や、とうもろこしを原料とする食材を利用した日本語学習。トルティーヤを使った料理のレシピを日本語で書き料理体験。
50	10月6日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(4人) P(2人) B&P(1人)	教授者 3人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ペルーの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
51	10月11日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	4人	V(4人)	教授者 2人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ペルーの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
52	10月12日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	8人	B(2人) P(4人) V(2人)	教授者 3人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ペルーの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
53	10月18日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	3人	V(3人)	教授者 2人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー メキシコの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
54	10月19日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(1人) P(3人) V(3人)	教授者 5人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー メキシコの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
55	10月20日 南小 15:00～ 16:30	1.5 時間	9人	B(6人) P(2人) B&P(1人)	教授者 4人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ブラジルの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。
56	10月25日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	3人	V(3人)	教授者 2人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習ー ブラジルの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を日本語で学ぶ。

57	10月26日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	6人	B(2人) P(2人) V(2人)	教授者 3人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習－ ブラジルの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を 日本語で学ぶ。
58	10月26日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	世界のゲームを体験しながらの日本語学習－ メキシコの代表的なゲームを習い、ルールや遊び方を 日本語で学ぶ。
59	11月2日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	6人	B(1人) P(3人) V(2人)	教授者 3人	音楽に親しみながら言語を学ぶ。1回目。 ① ウクレレの歴史から学ぶ日本語（国の名前、西暦 の言い方、船乗り、移動、伝わるといったボキャ ブラリー） ② ウクレレのひき方を習いながら日本語に触れる （持ち方、指の位置を指示通りに理解し動く練 習） ③ ウクレレを弾きながら自己紹介をする （リズムにのせて楽しく自分について日本語で 話す）
60	11月2日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	中南米の楽器と日本で使われている楽器の学習をし た。マラカスやタンボリンなど多くの楽器が日本で使 われていることからなじみがあり、その由来を知り子 供たちも驚いていた。
61	11月9日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(2人) P(3人) V(2人)	教授者 3人	音楽に親しみながら言語を学ぶ。2回目。 ① 歌の歌詞を日本語で読む練習（メリーさんの羊・ カエルの歌） ② 日本語で音階を知る（ドレミ・・・） ③ ウクレレを弾きながら歌ってみる。
62	11月9日 坂東小 15:00～ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	「幸せなら手をたたこう」を英語と日本語で歌う。そ の後3つのテーマに分かれて子供たちはそれぞれ勉 強をする。1、幸せな絵を描く 2、英語の歌詞を並べ る 3、感情表現のカードでカルタ遊び。
63	11月15日 豊受小 15:00～ 16:30	1.5 時間	3人	V(3人)	教授者 2人	「幸せなら手をたたこう」を英語と日本語で歌う。そ の後3つのテーマに分かれて子供たちはそれぞれ勉 強をする。1、幸せな絵を描く 2、英語の歌詞を並べ る 3、感情表現のカードでカルタ遊び。
64	11月16日 広瀬小 15:00～ 16:30	1.5 時間	7人	B(2人) P(4人) V(1人)	教授者 4人	音楽に親しみながら日本語を学ぶ。風の音や水の流れ る音の違いを学んだ。実際に自分の息、ペットボトル の水をバケツに入れて音の違いを確認した。

65	11月17日 南小 15:00~ 16:30	1.5 時間	9人	B(6人) P(2人) B&P(1人)	教授者 3人	「幸せなら手をたたこう」をスペイン語と日本語で歌う。その後3つのテーマに分かれて子供たちはそれぞれ勉強をする。1、幸せな絵を描く 2、スペイン語の歌詞を並べる 3、感情表現のカードでカルタ遊び。
66	11月30日 広瀬小 15:00~ 16:30	1.5 時間	5人	B(2人) P(2人) V(1人)	教授者 3人	「幸せなら手をたたこう」をスペイン語と日本語で歌う。その後3つのテーマに分かれて子供たちはそれぞれ勉強をする。1、幸せな絵を描く 2、スペイン語の歌詞を並べる 3、感情表現のカードでカルタ遊び。
67	12月7日 坂東小 15:00~ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	世界の地図を見て、場所の確認をする。日本語で日本、母国はどこにあるのかを説明する。例) ブラジルはペルーの近くにあります。日本から遠いです。 発表の練習にもなった。
68	12月7日 広瀬小 15:00~ 16:30	1.5 時間	8人	B(2人) P(5人) V(1人)	教授者 2人	世界の地図を見て、場所の確認をする。日本語で日本、母国はどこにあるのかを説明する。例) ブラジルはペルーの近くにあります。日本から遠いです。 発表の練習にもなった。
69	12月14日 坂東小 15:00~ 16:30	1.5 時間	10人	B(4人) P(4人) PB(1人) V(1人)	教授者 2人	世界の動物について： 各国を代表する動物は何だろう？またその特徴を学習しながら日本語を学ぶ。例) オーストラリア：コアラとユーカリの葉、カンガルーなど。
70	12月14日 広瀬小 15:00~ 16:30	1.5 時間	8人	B(2人) P(5人) V(1人)	教授者 2人	世界の動物について： 各国を代表する動物は何だろう？またその特徴を学習しながら日本語を学ぶ。例) オーストラリア：コアラとユーカリの葉、カンガルーなど。
71	12月15日 南小 15:00~ 16:30	1.5 時間	9人	B(6人) P(2人) B&P(1人)	教授者 3人	世界のランドマーク： 各国で有名な建物を学びながら日本語での知識と単語を増やす。例) ペルー：マチュピチュ 日本：富士山 それぞれの特徴を日本語説明する練習をする。
72	12月21日 広瀬小 15:00~ 16:30	1.5 時間	8人	B(2人) P(4人) V(2人)	教授者 4人	世界のランドマーク： 各国で有名な建物を学びながら日本語での知識と単語を増やす。例) ペルー：マチュピチュ 日本：富士山 それぞれの特徴を日本語説明する練習をする。

⑨ 特徴的な授業風景

イ) 4月27日 テーマ「平和について」

アクティビティ	目的	プラン, 教師への注意事項など
1)ウォーミングアップ 楽しいゲームなど。	生徒同士の交わり、リラックス、 友達を作る。	自己紹介ゲーム フルーツバスケット
2)今日の授業の紹介 (テーマ・目的), 絵や写真など目で見て分かる 単語、文の紹介と練習。	生徒が注目し、テーマに興味を もってもらう。メインアクティビティ のための準備(平和をテーマに、 どのような国のどのような子ども も平和に貢献できることを絵と説明 で紹介)。	世界地図の説明、平和の使者、白いハトについ ての絵と説明。平和に貢献する各国の子どもたち の写真を紹介説明する。 (ベトナム・南アフリカ・ブラジル・日本・ペルー・ド イツなど・身体障害者・ダウン症)
3)グループに分かれて のメインアクティビティ, ゲーム、アート、工作、食 べ物など手を動かすアク ティビティをおり交ぜなが ら日本語に触れ日本語 の習得をする。	その日のレッスンのターゲットボ キャブラリーを社会的、地理的学 習を通して楽しく習得する。	文字や文の練習 ・世界地図に各国の名前を書く (カタカナや地理の学習) ・国旗を描く 本(タイトル: 平和)を使った学習 ・教師による読み聞かせ ・生徒の音読練習 ・分からない言葉の説明 ・出てくる漢字の練習 ・文の書きとり ・内容理解
4)発表の時間	行ったアクティビティを皆の前で 共有し学習したことを確認する (日本語で人に伝える練習)。	グループでの話し合い ・子どもはどうやって世界の平和に貢献している か? ・どこの国出身でも関係ない ・肌の色は関係ない ・話す言葉も関係ない ・大切なことはすべての人にやさしい心をもつこと みんなで手をつないで大きな声で言ってみよう “世界が平和になりますように”
5)まとめの時間	保護者への手紙、お知らせな ど。	来週のレッスンについての案内

(補足説明)

- 1) ウォーミングアップ・・・学年・国籍の違う生徒が各教室から生徒が集まり、まずはフルーツバスケットのような簡単なアクティビティをすることで、子どもたちがリラックスをして日本語を学習できる環境を作る。
- 2) 今日の授業の紹介・・・学校の授業とは違った観点から、子どもの興味を引き出し日本語学習ができるよう工夫している。今回は平和をテーマとし、テーマに沿った言葉を取りだして文字や

文の練習、本を使用しての音読練習、内容理解を行いながら日本語の上達を測る。

(例) 国の名前の読み書きと地図との照らし合わせ

ペルー・ブラジル・ベトナム・南アフリカ・ドイツ etc.

- 3) グループに分かれてのメインアクティビティ・・・テーマに沿った内容からその日のレッスンのターゲットボキャブラリーや学習内容をグループで行う。今回は国の名前をカタカナで書くこと、大陸名と国の位置を確認しながら地図に親しむ。本を使った学習では、生徒の苦手としがちな漢字や文章読解をテーマに結びつけ楽しく学習することで日本語学習意欲を増進させる。バイリンガルな教授者から日本語で分からない言葉や意味は母国語で説明を受け理解を深めた。

詩の朗読により音読の練習や語彙能力を高める

- 4) 発表の時間・・・グループに分かれて行った学習の成果を他の生徒の前で発表することで、日本語での発言力や発表力に結びつける。

ロ) 7月7日 テーマ「世界の国々の衣類と素材」

アクティビティ	目的	プラン, 教師への注意事項など
1)ウォーミングアップ 楽しいゲームなど。	生徒同士の交わり、リラックス、 友達を作る。	自分の来ている服についての紹介を日本語で行う。
2)今日の授業の紹介 (テーマ・目的), 絵や写真など目で見て分かる 単語、文の紹介と練習。	生徒が注目し、テーマに 興味をもってもらう。メインアクティビティのための準備(衣類と素材をテーマに、さまざまな国でその文化に沿った衣類をその国の素材を活かして大人も子どもも生活に使っていることを絵と説明で紹介)。	さまざまな国で衣類に使う素材、原料を実際に見せ(現物または写真)紹介する。 ＜語彙と知識を増やす＞ ① パイナップル ②バナナ ③お蚕 ④ アルパカ ⑤羊 ⑥とうもろこし ⑦綿
3)グループに分かれて のメインアクティビティ, ゲーム、アート、工作、食べ物など手を動かすアクティビティをおり交ぜながら日本語に触れ日本語の習得をする。	その日のレッスンのターゲットボキャブラリーを社会的、地理的学習を通して楽しく習得する。	実際の衣類を見て、触って、それらがどの原料から作られているかを考える。 ＜ワークシートを使用し、日本語を書く練習＞ ①→ブラウス ②→箱 ③→シルクのスカーフ・着物 ④→ウールのマフラー ⑤→アルパカセーター ⑥→帽子 ⑦→綿のシャツ
4)発表の時間	行ったアクティビティを皆の前で共有し学習したことを確認する (日本語で人に伝える練習)。	それぞれの衣類がどこで着られているか、世界地図を見ながら考える。また、地域の気候や地理的特色、多く生産される農産物と、その国で着られる衣類との関係性に気がつく。 ＜日本語での発言能力、発表力、世界や母国文化への知識＞
5)まとめの時間	保護者への手紙、お知らせなど。	来週のレッスンについての案内

(補足説明)

- 1) ウォーミングアップ・・・テーマに関するアクティビティを取り入れた。自分のことや身の回りのことを話すことで生徒をリラックスさせ、お互いを紹介し合う。
- 2) 今日の授業の紹介・・・母国の文化にも関わる内容を取り入れ、母国文化への知識と国際理解に通じる内容の中で日本語学習をする工夫をした。
- 3) グループに分かれてのメインアクティビティ・・・日常無意識に着られる衣類であるが、素材と文化との関係性を知ると共に地理的影響も考えた。児童の知らなかった語彙も多く、見る、触るなど、五感を使いながら日本語の語彙と知識を学ぶ機会とした。ワークシートとゲームを取り入れながら、日本語を書くことについても低学年児童が楽しく学べる工夫をした。
- 4) 発表の時間・・・グループに分かれて行った学習の成果を他の生徒の前で発表することで、日本語での発言力や発表力に結びつける。

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

外国籍児童の多くは、家庭内においては母国語を話すため、公立学校に通うものの日本語能力の遅れや、日本の文化的知識や経験は少ないと言える。当講座では、学校では学ぶことの少ないさまざまな国の文化や自然、美術などをテーマとし、子どもがより楽しく、興味をもち、意欲的に日本語学習に取り組めるよう工夫をした。その結果を把握するため、生徒、保護者、教員を対象にアンケートを実施し、活動の成果をまとめた。

[アンケート調査方法]

アンケート調査実施にあたっては、伊勢崎市教育委員会の上記を踏まえ、10月上旬に実施。参加生徒、その保護者、講座を実施している各学校の学校長、教頭、または日本語教室担当教員にお願いをした。

[アンケート結果抜粋]

(詳細は、別紙資料 “アンケート調査結果” を参照)

回答は複数回答方式とした。回答構成比率もしくは回答数を【 】に示す。

イ) 参加生徒に対するアンケート結果:

参加生徒のうち 20 名について回答を得られた。

質問 1. Dream Club に参加するようになって自分が変わってきたと思うことは何ですか？

- a) 学校の勉強をもっとしたいと思うようになりました。【90%】
- b) 学校がいままでよりも楽しくなってきたと思います。【90%】
- c) 自分の親のことを立派だと思うようになりました。【85%】
- d) いろいろな種類の人がいることはよいことだと思うようになりました。【80%】
- e) 自分の国のことをもっと知りたいと思うようになりました。【80%】
- f) 日本語をもっと勉強したいと思うようになりました。【75%】

- g) 日本のことをもっと知りたいと思うようになりました。【70%】
- h) 自分の国のことばをもっと勉強したいと思うようになりました。【65%】

質問 2. 学校生活のなかで大変だなと思う時はどんなことですか？

- a) 勉強 【10 人】
- b) 宿題 【7 人】
- c) 先生との関係 【2 人】
- d) 兄弟との関係 【2 人】
- e) 友達との関係 【1 人】
- f) 親との関係 【1 人】

ロ) 保護者に対するアンケート結果：

保護者のうち 12 名について回答を得られた。

質問 1. 自分の子どもが Dream Club に参加するようになって、子どもが変わってきたと思うことは何ですか？

- a) 学校生活に自信がついて来たようだ。【58%】
- b) 母国についての理解や関心が増した。【58%】
- c) 日本や他の国についてもっと知りたいと思うようになった。【50%】
- d) 日本語をもっと勉強したいと思うようになった。【42%】
- e) 母国語をもっと勉強したいと思うようになった。【33%】
- f) 親に対する接し方が変わってきた。【25%】

質問 2. 自分の子どもの将来についてどう考えていますか？

- a) 日本の中学校に進学させたい。【58%】
- b) 日本の高校に進学させたい。【42%】
- c) 日本の大学に進学させたい。【33%】
- d) 将来は日本で仕事して生活して欲しい。【25%】
- e) 自分の国に帰って教育を受けさせたい。【25%】
- f) 外国人学校またはインターナショナルスクールに行かせたい。【50%】

ハ) 小学校の先生に対するアンケート結果：

ドリームクラブに関わって頂いた先生 4 名について回答を頂いた。

質問 1. 外国籍の児童の日本語習得について：

- a) 特に足りない学力：
 - 文章を作る力【4】、語彙【3】、読解力【2】、漢字【2】、コミュニケーション能力【1】
- b) 日本語能力を高めるためにより必要だと思われる学習支援：
 - 語彙の習得【3】、授業の復習【2】、文章の書き方【2】、読書（本読み）【2】、母国語での説明や解説【2】、宿題【1】、日本文化の理解【1】

- c) 日本での進学を目指すために必要とされる支援：
保護者の理解と協力【4】、学校外での日本語支援【1】、
本人の心理的支援【1】、進学に関する情報【1】

質問 2. 日本語の習得と母国の文化、母国語の影響について：

- a) 日本語能力を高めるためには保護者の協力と理解がより必要だと思う。
【3】
b) 日本語能力を高めるためには学校外でも日本の地域社会における体験や
経験がもっと必要だと思う。【1】

② 学習者の習得状況

アンケート調査から下記が言えると思う。

イ) 生徒の学習状況：

「学校の勉強をもっとしたいと思うようになりました」の質問に対し、90%の生徒が「はい」と答えている。当講座では、日本語の学習を、母国語でのフォローや生徒の母国に関する歴史や文化にも触れながら行った。これは、特に低学年の生徒は楽しく、興味を持たなければ学習に結びつくことが難しいため、何よりも日本語に対するモチベーションを高めることが効果的な結果に結び付くと考えからである。「自分の国のことをもっと知りたいと思うようになりました」の質問に対しての答えも80%と大変高いことから、当事業を通して、自分のバックグラウンドも含め、新しいことを知りたい、学びたいという児童の気持ちの現れといえる。外国籍の生徒にとり、自分自身のバックグラウンドを知り、自尊心を高めることなしに、日本語の学習能力の向上を目指すことは難しい。よって母国語への興味や母国の文化への探求心は必ず日本語学習の前向きな取り組み、学校生活における積極性につながり自主的な適応力の向上を高める。

講座を進める中で、生徒の発言や質問が増えた。これは、教授者との良い信頼関係を構築し、生徒が授業に取り組んでいることを表す。同じ境遇の仲間との授業の中で、躊躇せずに分からない日本語を聞く(母国語でも聞く事ができる)、読み書きを自分のレベルで習うことができるといった、学校の教室内ではない生徒の精神的安心感は日本語を学習する上で必要なことであり、日本語コミュニケーション能力の向上となる。

日本で生活し活躍する外国人をゲストティーチャーとして招き話を聞く、交流をするといった体験の機会を作り、外国人児童が日本で生活する上で、将来の進路選択に関わることを含む日本語の習得及び日本語によるコミュニケーションの必要性の理解を深める機会となるよう努めた。

ロ) 保護者の反応：

当講座に子どもを通わせた保護者のうち 12 人から回答を得た。質問 1 の「自分の子どもが Dream Club に参加するようになって、変わってきたと思うことは何ですか？」の回答の中で、「学校生活に自信がついた。」「母国語についての理解、関心が増した。」に 58%の保護者が同意した。これは、当講座を通し、子どもが日本語能力を向上させることで、学校生活にも良い結果が現れること、また、アイデンティティの構築にも結び付いていることがうかがえる。

アンケートの結果から、過半数の保護者は子供が中学へ進学することを望みながらも、母国語や母国の文化を学んでもらいたいと思っており、外国人として日本で生活する上で子どもに期待する複雑な心境がうかがえる。

ハ) 教員の反応:

当講座に教室を提供して頂いた小学校 4 校から、校長、教頭先生、窓口となって頂いた教員、または日本語教室担当教員など、計 4 名から回答を得た。現場の先生方の意見から、外国籍生徒は、日本語でコミュニケーションをする能力はある程度あるが、「文章をつくる力」「語彙、語彙の習得」についての能力が足りていないという現実が見える。「保護者の方が言葉や生活に悩んでいるのでは」という先生の意見のとおり、幼いころに来日した、または日本で生まれた子どもにとり、日本語で生活することに不自由はないと言えるが、保護者の日本語力が子どもよりも劣っているケースも多く、家庭における日本語学習のフォローの不足や学習言語に対する遅れは年齢を重ねると共に差が出てきてしまう。

また、12 月の当講座修了後、場所を提供頂いた 4 校の校長、教頭先生と面談を行い、講座の報告や学校からみた評価や意見を伺った。すべての学校において、学校の授業内ではできない多言語、多文化を理解した内容での日本語能力向上の授業は非常に有難く、生徒たちは大変楽しそうに授業に参加している様子であったと良い評価を頂いた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

- イ) 前項で述べたように、アンケート調査の結果から、当講座が、生徒の日本語学習に対するモチベーションを高め、日本語コミュニケーション能力の向上、目標の設定や学校生活への活発な参加、自立的な適応力向上へと通じていることが分かる。学校の集団生活の中においては、全体の中の一人として、注目されることも少ない生徒が、少人数のクラスの中で、同じ国籍の児童や教員と信頼関係を築きながら、その子どものレベルで日本語を学び、また、自分の文化をテーマとした授業で、アイデンティティに関わる必要な知識を得ることで、自分自身に自信をつけながら日本語能力も高めることができた。
- ロ) 本年度は公立学校内で講座を行うという試みであり、校内の教員、日本人生徒、保護者にも関心をもって頂く機会となり、外国籍児童の学習に対する注目度が昨年度以上にアップしたといえる。また、外国籍児童の多い学校内で講座を行うことで、送迎の制約の関係から昨年度は参加できなかった生徒も参加することができ、より多くの外国籍児童の日本語学習のチャンスを増やすことができた。
- ハ) 当講座参加生徒の保護者の中には、子どもの講座参加をきっかけに子どもの教育や進路について、また心理的な相談を希望され、母国語で行えるカウンセラーへ紹介した例もある。本講座が日本語能力の向上はもちろんだが外国人として日本で安定した生活を送るための情報を提供できる窓口的役割をも果たしたといえる。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

昨年度同様、本講座実施については伊勢崎市教育委員会のキーパーソンへの説明を行い、

アドバイスを頂いた。教育委員会から事前に学校にコンタクトして頂き、その上で、各学校長と面談を行い、当事業や講座についての協力と理解を頂くことができた。外国籍児童の多い本市では、外国籍児童の学習についても関心が高く、不登校、不就学、心理的問題など、教育委員会や学校内だけでは解決が難しい問題も外部の協力団体との連携をはかり、支援を進める必要があるため、日本語能力向上の支援として、本講座が与える効果は大きいといえる。

10月には伊勢崎市教育長との面会をし、活動の報告を行った。多忙な学校現場において、外国籍児童を担任する先生方にも限界があるため、外部からの支援は大変有難いと評価頂いた。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状：

イ) 開催場所について・・・小学校内での講座開催ということから、学校側にとっても初めてのことであり、報告、連絡など連携を取ることに注意しながら進めた。週一回を基本に講座開催を希望したが、学校の事情や行事などを踏まえ講座数を決めた。講座が進むにあたり、授業や生徒の様子も分かるようになり、学校側も安心してくれたようである。校長、教頭、担当教員が授業を見学、または参加して頂いた回もある。

ロ) 参加生徒について・・・開催当初は参加人数が少ない学校もあったが、再度チラシを配る、学校内の日本語教室の先生に協力を頂くなどといった呼びかけから、合計69人という多くの外国籍生徒の参加が可能となった。

b. 今後の課題：

イ) アンケート結果でも明らかなように、外国籍児童が、学習面、生活面共に安定し日本で生活していくためには、日本での教育に対する保護者の考え方や理解が必要である。また、保護者の日本語が劣っているために保護者が学校への連絡や行事への参加に躊躇してしまう例も少なくない。保護者を巻き込んでの日本語学習や生活者としての日本への適応支援は今後の課題でもある。具体的には、親を招いての生徒の学習発表会、母国語でも可能な教育相談会、電話相談など保護者とより多くのコミュニケーションをはかりたい。

ロ) 講座開催数について、開催する学校によつての差があった。学校の行事や事情があるため、やむを得ない場合もあるが、生徒ができるだけ多くの回数に継続的に参加できることで、日本語能力向上につながると考える。来年度にむけて学校側の協力を頂きつつ、各学校週1回の開催を目指したい。

c. 今後の活動予定、展望：

小学校内で講座を開催するという新たな試みの実現し、多くの外国人生徒に日本語能力を向上させる学びの場を提供することができた。本年度の実績を基に、平成24年度も継続的な日本語学習の場として当事業に提案をさせて頂きたい。これまで参加した生徒はよりいっそう学習に取り組む、また、新1年生や今年参加をしていなかった新規の生徒を増やすことにも努める予定である。具体的には、

- ・新たなカリキュラムによる魅力的な日本語学習。
- ・日本語教室指導助手との連携と協力。

(外国人児童の学習レベルや状況は、日々接する日本語教室の指導助手がよくわかっており、また親との信頼関係ができている。彼らに協力をお願いすることで、より多くの児童参加を呼びかけ、児童に必要な日本語能力を向上させることができる。)

⑤ その他参考資料

- イ) アンケート調査結果 (生徒)
- ロ) アンケート調査結果 (保護者)
- ハ) アンケート調査結果 (教員)
- ニ) 募集チラシ (ポルトガル語)
- ホ) 募集チラシ (スペイン語)

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

文化庁 HP に掲載しますので、記載される内容については、関係者の了解をとっておいてください。

